

ニュースレター（8月）

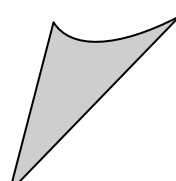
テーマ

1. 工夫ある経営で頑張っている中小企業（8件） 2頁

メイドインOSAKAの誇り（前田製箱㈱・北区）
「環境（エコ）と健康（ファイン）」を目指して（㈱トミヤカンパニィ・城東区）
商品開発・特許を通し快適な衣類を提供するオンリーワン企業（ジョイ㈱・中央区）
日本で初めて！「ペン型の携帯型 除菌・消臭スプレーを製品化」
～商品名「ハンドクリーンスプレー」～（㈲ガルボプランニング・西区）
～新規顧客の獲得と再来店を促進する新しい販売促進ツール～
ケータイでタッチする新しいスタンプカード pipot.to（㈱ピポット・東成区）
がんばれ！21代目当主の材木屋さん（㈱九州木材商会・浪速区）
メッキ細線の生産に工夫を重ねる金属加工企業（倉本工業㈱・平野区）
がんばれ！ アイデアマン社長（㈲東英製作所・住之江区）

2. 地域の動き（1件） 11頁

『「商・農・学」連携で商店街活性化！』
～あべのベルタ「あべのファーマーズマーケット」へようこそ！～（阿倍野区）



大阪のあるべき姿と重点テーマを示す「ビジョン」と、その実現に向けた「アクションプラン」をとりまとめたのが「大阪府の創出プラン」です。「ビジネス・ホームドクター」である経営指導員が、地域商工業に活かされる「大阪」をつくりだすための支援をします。

新淀川支部（淀川担当） 北・都島・福高支部
旭・城東・鶴見支部 中央支部 此花・西・港支部
東成・生野支部 天王寺・阿倍野支部
大正・浪速・西成支部 東住吉・平野支部 住之江・住吉支部

工夫ある経営で頑張っている中小企業

メイドインOSAKAの誇り

前田製箱株式会社（代表取締役：前田雅範氏 所在地：北区中崎西 4-1-26 : 6371-2771 URL：<http://www.maeda-craft.com>）は、昭和3年5月に祖父が創業、昭和26年3月に法人設立、平成6年11月に現代表取締役の前田社長が就任した。同社は代々輸出用の梱包材の下請け生産を行ってきたが、平成10年に木工技術が生きるハンドメイド木製品の製造販売に移行し、今では流通業界で「木が持つ癒しの雰囲気を生かした商品」を開発できるメーカーとして注目を集めている。

同社の製品には工業製品にはない本当に良いものを造るという熱い想いが込められている。また、工場内に直営ショップを併設し、ブランド力を向上させるため、MAEDA CRAFTとして、商品を展開している。

MAEDA CRAFTには三つの「こだわり」がある。木の素材に対するこだわり、塗料に対するこだわり、手作りに対するこだわりである。

いくら素材が良くても、それを形にする職人がいなければ良い品物は作れない。同社の職人は木を扱うことにかけては、まさにプロフェッショナル。お客様にお届けする商品の一つ一つに、いつまでも使っていただきたいという想いを込めっていると前田社長は云う。ちなみに、この記事のタイトルの「メイドインOSAKAの誇り」は、

数ある製品の中でも生産者を識別させるための前田社長こだわりの言葉である。

工場内は、見学も歓迎しているので、ショップを訪れた時は、気軽に職人さんに声をかけてみよう。

また、同社のホームページは、前田社長が毎日更新されており、商品カタログだけではなく、同社がある地元の中崎町物語、社長日記なども掲載している。興味のある方は、一度ホームページを見られてはいかがだろう。

（北・福島・都島支部）



「環境（エコ）と健康（ファイン）」を目指して

株式会社トミヤカンパニー（代表：藤川匡氏 所在地：城東区東中浜 5-9-7 : 6965-2428）

は、平成8年から特長ある遠赤外線事業に取り組んでいる。商品は活性力を持つ「水」と「セラミック」が二本柱。

「水」は特殊なセラミックを使用して製造される『活性水』で、我々に「健康な環境」を提供する。建築材料をはじめ家具などから室内に発散される有害な揮発性の有機化合物を除去・低減したり、ガンなどの原因とされている体内の酸化物質や有害な紫外線を除去・低減したりする力があるといわれている。我々の生活空間を安心できる環境に整えることができるもので、一般に言われる薬剤（化学物質）は一切含まない「エコ・ファイン」商品だ。また『活性水』は優れた遠赤外線放射効果も備えている。遠赤外線(波長6～14μm)は我々人間や生物の生存・成育には必要不可欠であるといわれている重要な要素。『活性水』には環境・健康にかかわる性能がまだまだありそうで、現在も引続き研究を進めているとのこと。なお『活性水』の製造にほとんどエネルギーを使わないのも大きな特長で、製造方法もまさに「エコ」である。

この『活性水』を使用して製造されているのが『活性セラミック』。セラミック中の有効成分が池や貯水槽の水質改善に威力を発揮する。まさに「環境（エコ）を目指すのにぴったりの商品だ。この「活性セラミック」で家庭でもちょっとした温泉気分を味わうことができる。なおこの「活性セラミック」製造にもほとんどエネルギーを使わないというから、社会情勢にマッチした「理想的な商品」といえる。

現在これらの製品は、住宅のシックハウス対策、塗料・接着剤中の残留溶剤の除去、貯水施設の水質浄化、畜産・植物の生長促進などに利用されているほか、各種製造工程での洗浄、洗濯、繊維の帯電防止・柔軟性付与などにも検討されている。これら『活性水』『活性セラミック』の製造方法、効果のメカニズム解析には、社長以下従業員18名が一丸となって取り組んでいる。全社員の知恵と工夫、粘り強さが発揮されているといえよう。

藤川社長に今後の事業展開について伺うと、「現在、数社に限られている代理店納入体制を深耕し、代理店との共同での新規ユーザー開拓を進め、国内・海外への『活性水』『活性セラミック』の供給増を目指す、また一般消費者対象商品の販売も強化すること。」

一般的な薬剤を使用せず、エネルギーもほとんど使用しない、「エコ・ファイン」を狙う『活性水』『活性セラミック』に注目したい。

(旭・城東・鶴見支部)

商品開発・特許を通し快適な衣類を提供するオンリーワン企業

ジョイ株式会社（所在地：中央区南久宝寺町 3-6-13 : 6244-0161 代表取締役：中本純一氏）は最高級品質の北欧産フォックス、ミンクを原皮としたマフラー、雑貨製品を企画・製造するアパレルメーカーである。

近年、国内の衣類等製造業界は人件費の安い中国製に圧倒され、さらに昨年未からの未曾有の不況下で値下げ圧力が強まり、苦しい状況が続いている。そんな中でも同社は、製品の品質・

安全を重視し、原皮の鞣（なめ）し、染色から縫製まですべてを日本国内で行うこだわりを大切に、適切な価格を維持しながら業績を拡大している。その結果、本年度の売上は昨年度の約1.5倍、利益はそれ以上を予定している。

このような良好な事業展開を可能としている理由は、特定分野における同社の持つ特許技術が独占的な製造と適切な価格形成を可能としているためである。同社は常に独自の製品企画・開発に力を入れ、開発製品の特許申請・権利の取得により、オーソライズされた確かなオンリーワン技術を持つ企業を目指すという明確な経営方針を持ち、長く実行してきた。

その成果の一つとして、マグネットホック：登録名称「留め具及び衣類」が今年4月、特許庁より特許登録が認められた。マグネットホック効果により、今春の展示会での同社製品に対する反応は劇的な高まりを見せ、今後の売上拡大を確信するものとなった。マグネットホックはマグネットを使った工夫された留め具であり、使い易さ、デザイン性に大変優れている。同社が従来扱ってきた毛皮製品及びマフラー製品に限らずあらゆる衣類の他、服飾雑貨、グッズ製品等にも広く採用可能であり、クロスライセンスの活用とあわせ、今後も取引先を格段に広げようとしている。

2010年度よりマグネットホックを使用した春夏製品及びオールシーズン製品を展開する事を既に決め、先行して各業界よりの申入れ企画の相談、その後のサンプル作製を提案し、大きな反響を呼んでいる。このことは、従来、秋冬に限られていた同社の事業活動が、通年活動に拡大する事でもある。これらの相乗効果は、オンリーワン技術の一層の研鑽による経営基盤強化とあわせ、今後のさらなる発展となり、楽しみである。

(中央支部)

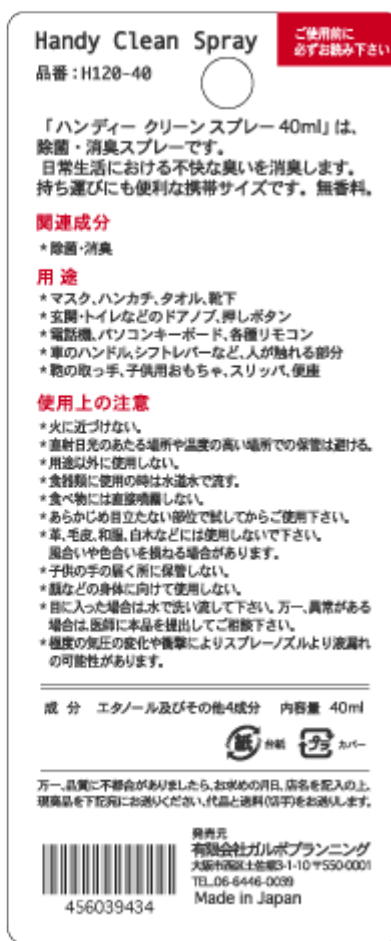
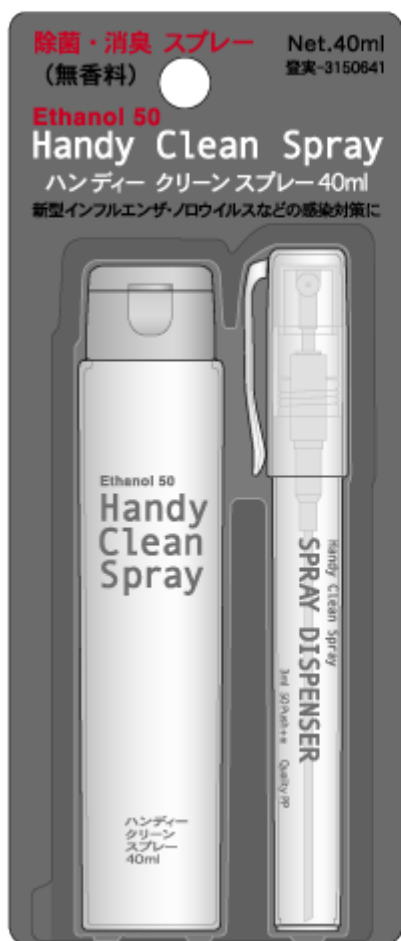
日本で初めて！「ペン型の携帯型 除菌・消臭スプレーを製品化」 ～商品名「ハンドクリーンスプレー」～

有限会社ガルボプランニング（所在地：西区土佐堀3-1-10 ：6449-8765 取締役：末政亜紀宏氏 URL：<http://www.garbo-planning.co.jp/>）はスポーツに関わるアイテムを中心に海外のメーカーも含めて商品企画デザイン開発業務を受託しながら自社でも製品化を進めるデザイン会社である。

この度、日本で初めての「ペン型の携帯型 除菌・消臭スプレー」を製品化した。この製品を開発しようとしたもとの発想は、「各家庭には除菌・消臭スプレーがあるけど、持ち運べたら便利では？」と思ったこと。末政社長は、いつもアンテナを張り、「こうあればいいなあ」と思ったことはメモリ、徹底的に調べるという姿勢を持っておられる。今回も、調べて見ると、携帯用の除菌・消臭スプレーは、アメリカでは販売されており人気があるが、アルコール含有量が60%以上であり、60%未満しか認めない日本には輸入できないということがわかった。それで、「じゃ、自分で創ってみよう」ということになった。

携帯に便利なペン型の容器をデザインし、中国でボトルを生産。除菌剤はOEM製造。8月中旬までに2万本、12月までに5万本を製造する。将来的には、アマゾンでのネット販売やハンズ、ロフト等での小売、介護関連、食品関連、医療関連への販売を計画しているが、現状では、品質の信頼性を考慮し、企業のノベルティーに利用してもらおうと考えている。

本商品は、誰に聞いても「いいアイデア商品だ。」と、声がる。インフルエンザ等のパンデミック対策にも有効で、常に携帯でき多目的に使える。また、エタノールを含む除菌剤を開発しているため消臭や小物の洗浄にも利用でき、将来性は大いに期待できる。



この度、販路開拓・拡大を目的として大商の「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」に参加することにもなった。

末政社長は、「現在、日本の物作り分野では、流通システムが煩雑で、コスト的にも良い物が開発しにくい状況に来ている。特にまだ商品化されていないアイテム等は流通上に無い為に販売数やコストの予測が難しいが、製品化すれば大量の需要が見込まれる商品は多くある。自社製品では出来るだけ無駄な流通を省き工場から直接利用者へ良い物が安く届くよう商品開発に取り組んでいる。」と言われ、アイデアを振り絞っている毎日である。

(此花・西・港支部)

～新規顧客の獲得と再来店を促進する新しい販売促進ツール～

ケータイでタッチする新しいスタンプカード Pipot.to

株式会社ピポット（代表取締役：巽年弘氏 所在地：東成区東小橋2-2-21 URL：<http://www.pipot.to/>）

では、本年7月より携帯電話をタッチすることでスタンプを蓄積できる店舗向け販促システム「Pipot.to」（ピポット）を開始した。このサービスはケータイ電話に標準装備されているIC機能（Felica）と、通信機能を使い、ポイント会員サービス事業を加盟店に代わって運営事務局であるピポットが行うものである。来店を促す「ポイント制」の導入を考えている店舗にとっては特段の設備投資が不要で



維持費も低廉なポイントシステムと、煩雑なポイント管理業務を代行してくれる本システムは費用対効果の高いシステムと言えるだろう。

本システムは、来店ユーザーがピポット加盟店で携帯電話を端末にタッチするだけで、端末（UI管理番号）を認証し、個別に自動生成されるWEBページに来店スタンプが蓄積される仕組みで、タッチした際に表示されるURLから、現在のスタンプ状況などを確認できるようになっている。店舗側が設定したスタンプ数を蓄積することで、割引券などのクーポンへ交換が可能となっている。クーポンへの交換時には会員登録が必要で、加盟店は会員登録後の来店ユーザーがピポット端末にタッチすることで、性別、年齢、来店回数等の顧客データを収集・管理・活用できる新しいサービスである。また、加盟店は自店のHPをケータイのピポットポータルサイト上に開設し、自店会員と自店営業エリア内の他のピポット会員の両方にメールマガジンを配信することもできるので、再来店・新規顧客の獲得を促進する販促ツールとして活用することができ、来店ユーザーにとっても遊び心を触発する簡易な方法でスタンプ集めができる楽しいツールとなっている。

同社は2009年6月に本サービス事業を新規に立ち上げるにあたって設立された会社で、現在、加盟店を募集中である。只今、期間限定のオープニングキャンペーン中で1ヶ月間無料の試験的導入を提供しているので、是非お試しいただきたい。

端末に携帯電話をかざすだけの手軽さは利用者の年代を問わないので、美容院、飲食店、ガソリンスタンド、アミューズメント等の幅広いニーズが見込まれ、多方面から高い関心が寄せられている。販売については直販のみならず代理店経由の販売にも対応予定で、他のポータルサイトや商店街などとのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。

本システムは、情報をQRコードなどに変換して、パネル・ディスプレイ装置に表示する従

来の仕組みに代えて、携帯電話からUIM管理番号を読み取り、暗号処理を行い、URLを生成するといった新しいビジネスモデルであり、従来のQRコード読み取り方式に馴染めないでいる「中高年齢層」をも取込むことが可能となった。

若者から中高年齢層までをターゲットとし、加盟店エリアグループ内でのメルマガ送信を利用して、商店街等のエリア活性化にもその効果が期待されている。(ピボットサービスの導入費用等については同社ピボットサービスセンターまでお問い合わせください。)

(東成・生野支部)

がんばれ！21代目当主の材木屋さん

道頓堀川の南、千日前通の北に位置する浪速区幸町には、かつては道頓堀川の水運を利用して木材を運ぶという川と材木屋さんの切っても切れない縁により、材木屋さんが多く存在した。

しかし、一帯に軒を並べ、昭和40年ごろには60数件を数えた材木屋も、今では数件に減ってしまっている。その中に大工・工務店への木材販売からゼネコンまで広い販路を持ち、学校教材も扱っている株式会社九州木材商会(所在地：浪速区幸町 3-5-22 : 6568-1261 代表取締役：谷正一氏)がある。同社の社名は、古くは松の5分板類を主に九州方面から仕入れしていたことに由来している。

現社長の谷正一氏は、谷家21代目の当主として、浪速区幸町で代々続く歴史ある浪速商人で



あり、「昔から一つのものに特化しないで、住宅に関するあらゆるものを扱っている」と話す極めて前向きな社長さんでもある。

現在注力しているのは、材木屋さんでは殆ど導入していないCNCルーターを駆使した加工であり、木材はもちろんアルミ、アクリル等の加工も可能で、有馬温泉太閤の湯にある太閤秀吉にちなんだひょうたんを形取った入り口枠は、同社の製作とのことである。



CNCルーターは、コンピューターによる数値制御した加工機械であり、一般的な製材加工機で対応できる木材などの角切り以外に、曲面や穴開け加工も瞬時にでき、角材に曲面を施すデザインという加工は自由自在である。

さらに小ロットでも、また一般の人からの注文を受けるという柔軟な対応をしている。

次に木材需要の低迷する中で、同社が需要拡大に注目しているのが住宅・店舗等の内装材料としての杉の木のパワー効果である。

杉の木には、二酸化窒素、ホルムアルデヒドなどを吸収し空気を浄化する。杉の呼吸が

適度に湿度を調節して、ダニ、カビ、ウイルスの増殖を抑止する。断熱効果で室内の温度変化をマイルドにする。などの効果があり、そのパワーを効率的に引き出す木工スリット材の加工（大阪府など特許申請中）が同社のCNC搭載加工機により可能であることから、今後の需要に期待している。

その他耐震補強材としての間伐材の杉にも力を注ぐなど積極的な取り組みから木材環境の変化や有効活用の研究開発にも頑張っている。

（大正・浪速・西成支部）

メッキ細線の生産に工夫を重ねる金属加工企業

平野区には金属加工に携わっている町工場が多い。その中の1社に微細金属線材の生産を専業とする倉本工業株式会社（代表者：倉本公夫氏 所在地：平野区長吉六反 1-1-10 : 6700-7385）がある。同社は昭和63年に創業し、平成元年から本格的に現工場の稼働を開始した。代表者が50歳を超えてからの創業であり、業歴は比較的新しいといえる。

金属の線材には、鉄、ステンレス、真鍮、銅などがあるが、当社は、銅線の生産一筋である。銅線材は柔軟で導電性があることが第一の特徴で、単線としては導電用に、また、撚り（より）や織り（おり）の加工を施してシールド材や構造材料として電気・情報や自動車産業に用いられている。

同社の特徴は、大手電線メーカーから供給される太さ2.6mmの原料銅線を0.05mm～0.14mm、すなわち50～140ミクロンに細線化し、更にその表面に錫メッキを施す技術と生産能力を有することにあり。伸線の生産速度は分速2,000m、時速では120kmという高速であり、同社では11台の伸線装置により1日当たり1トンを生産している。ヒトの髪の毛の太さがほぼ0.1mmであるから、これと同じぐらい細い金属銅線が、特急列車並みの速さで生産されていることになる。倉本社長の青年時代には分速150mほどであったといわれているから、この数十年の間に生産速度は10倍以上に達している。後続の錫メッキ工程では、熔融した錫の中を最速で分速700～900mの銅細線が走るが、これほどまでに高速処理の出来る企業は国内では同社を除けば皆無に近い。

これだけ細く、かつ、高速になると、伸線工程でも錫メッキ工程でも生産中に線材の破断が生じやすくなる。これは連続運転を阻む最大のトラブルになるもので、生産中に破断が生じると操業を停止した上で、数人がかりで復帰作業がなされる。歩留まりを悪化させる最大の要因であり、多くの企業はこのトラブルに苦しんでいる。しかし、同社では、錫メッキ工程において銅細線24本を分速900m近い高速かつ安定した状態で一括処理している。この優れた技術は他社に見られないもので、大手線材メーカーも注目している。

同社は産業分類では金属加工業にあたる。一般に金属加工業では旋盤やフライス盤などの切削加工が多く労働集約的な生産方式が採られており、手先の器用さや熟練の技能が要求される。

これに対して、同社のような線材生産では装置産業的な要素が強い。連続生産が行われるため、化学工業や鉄鋼業のようなプロセス産業にみられる監視業務が主体である。良い製品を生み出す条件は、手先の器用さではなく、始動前の条件設定と操業中の管理の良否で決まるのである。また、生産量に比べて従事する従業員の数が極端に少ないことが特徴であり、同社の場合には伸線生産に1名、メッキ工程に1名の計2名という少なさである。従って、人件費の点では、大変有利である。

同社の今後の課題の一つに、線材の太さを更に細くすることがある。現在のところ、同社で生産される最も細い線材は0.05mmである。情報・通信分野の得意先からは更に細い線材の要望があり、目下0.03mm、すなわち30ミクロンの細線化と錫メッキ処理を目指している。専用の伸線装置も購入して試作を繰り返しているが、今のところ生産途中での破断が多発するという。このトラブルの対策が意外と大変で、後継者予定である長男の宏光氏と協力して工夫と改良を続けている。

(東住吉・平野支部)

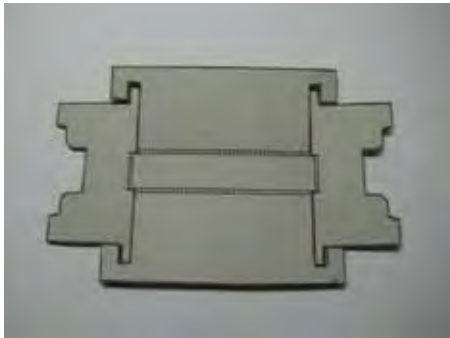
がんばれ！ アイデアマン社長

住之江区北加賀屋の南港通沿いに有限会社東英製作所（所在地：住之江区北加賀屋 1-5-15：6681-3626）がある。同社は昭和32年に創業し、昭和37年法人化したプラスチック成型加工企業である。当初は紡績機械用部品を製造していたが、昭和38年頃からは大手弱電メーカーとの取引を開始し、平成元年には自動車部品メーカーへ販路を開拓、プラスチック部品メーカーとしての基盤を確たるものとしている。

現在の社長は昨年8月に創業者である父親より経営を引き継いだ、東掘裕史氏であり、就任直後のリーマンショック、それに続く、国内自動車会社を中心とした大幅減産に遭遇し、多くの製造業が直面している受注難の中にある。

このような中、本業である自動二輪車部品で、従来から開発を進めていたキャブレタージョイント用アルミ複合フランジと、社長が日常生活の中で着想したアイデア商品であるワンタッチケースの開発を一本化したテーマによる経営革新計画を大阪府に申請し、承認された。同氏は住之江・住吉支部の大阪南経営革新研究会の初期からのメンバーであり、若い時、パブルメーカーでの加工機械設計・開発や営業に従事した経験と相まって、日ごろの研鑽の成果といえる。

本経営革新計画テーマの特徴は、本来業務である自動二輪車部品の製造（特許取得）に関するものと、本業とはやや異質の社長のアイデア商品（特許取得）とを同一の経営革新計画として申請し、承認された点だ。これにより、それぞれの事業の展開時に、信用保証や融資等の特典を受けることが可能となる。本経営革新計画テーマの第一は、キャブレタージョイント用フランジの性能向上に関するもので、従来製品であるプラスチック製が持っていた欠点を、金属



板状に切り込みと曲げ構造を成型



立体構造に組み立てた姿

を一部組み込むことにより性能を改善できる特許技術を基盤とし、顧客が抱える問題解決に寄与できるものだ。

一方、ワンタッチケースは、一枚のプラスチックや紙の板状のものに切込みを入れただけのシンプルな形状で、箱状、かご状の容器構造に容易に組み立てることができることが特徴となっている（写真参照）。

日常生活の中で出会う場面で発想されたものであり、ビニール製の袋に入った醤油の使い残しを一時的に立てかける容器を考える中で、着想したとのことであるが、糊やテープ等の結合部材を使うことなく、切り込みを持つ平面板の切り込み構造部を立体的に組み合わせることにより、立体構造を持つ容器に組立できることが特徴だ。空での保管時や、搬送時には一枚の板状にし、必要時のみワンタッチにより箱状・かご状に組立て、内容物が保管できる。このような機能を持った切り込み形状にノウハウがあり、嵌（は）め込み構造のアイデアからスタートし、より簡単な

構造を思考すること一時間程度で現形状に辿り着いたとのこと。

自社で使用する特殊加工機械・器具 8 台、特殊測定器 5 種も、日々の業務を高速化し、簡素化するため自社開発し、製作したとのことであり、日々のこのような活動がこの切り込み形状を生み出したのかと社長の発想力への興味は尽きない。今後は用途開発が主体となるが、キャンペーン時に立体構造に組み立てた中に食品ラップを敷けば、食器となり、廃棄物がラップだけと、省資源商品として活用もできる。今後もアイデアマン社長の活躍が大いに期待される。

（住之江・住吉支部）

地域の動き

『「商・農・学」連携で商店街活性化！』 ～あべのベルタ「あべのファーマーズマーケット」へようこそ！～

平成 21 年 7 月 12 日 日曜日 午前 10 時 30 分。普段なら子供達の遊び声に満ちる“あべのベルタ西側円形広場”が、オープニングファンファーレとそれに続くスウィングの軽快な音色に包まれた。地元、文の里中学校吹奏楽部生達の“熱い”演奏である。



大阪各地で始まった“大阪市消費拡大キャンペーン”。南部交通の一大ターミナルである“天王寺駅”そのすぐ南に立地するあべのベルタ（正式名：あべのベルタ商店街振興組合 最寄駅：地下鉄谷町線阿倍野駅、阪堺電車阿倍野駅）においても、それに鋭意参加、“Enjoy belta! お得な夏ベルタ”と題し、7月8日から18日までキャンペーンイベントを開催。お客様直接には1万円で1万1千円分使えるお買い物券販売や消費拡大キャンペーン用スクラッチカード進呈を、集客イベントとしては冒頭の昨年全国大会出場も果たした文の里中学校吹奏楽部のコンサートや大阪大谷大学学生による折り紙教室を開催。しかし、今夏最大の呼び物は、表題にもある「あべのファーマーズマーケット」である。



「あべのファーマーズマーケット」これは今回初めての試みとして、大阪府内農家女性による農業活性化組織“大阪府ファームレディネットワーク”、よりよい農村・地域社会を目指す40歳未満の農業者の集い“大阪府4Hクラブ連絡協議会”に協力を仰ぎ、地産地消を主眼に置いた“売り切れ御免”の農産物即売フェアである。さらにこれを強力にサポートするのが、地元あべの辻調理師専門学校の学生陣。大阪産の食材を使ったレシピ紹介や料理相談コーナーを設け、普段見慣れない毛馬キュウリ等大阪産野菜の美味しい食べ方を来場者に伝授。こちらも地産地消に役立てようと新たな献立を披露され奮戦されていた。

もちろん主催者たる“あべのベルタ商店街”も黙っていることはない。加盟店による逸品ご紹介や特別ワゴン販売を会場内で実施。来場者への感謝の気持ちを価格還元で表現した。また手前みそにはなるが、我が天王寺・阿倍野支部も区民祭り「あべのカーニバル」で好評を博している“Tシャツお絵かき



コーナー”を出展。自分の描いたTシャツがもらえるとあって、区民祭りと同様、親子連れの感謝の言葉をいただくことができた。

今回は何分初めての試みであり、参加者皆が手探り状態での開催ではあったが、この都会では珍しい『商・農・学』という組み合わせでの地域活性化イベントは、環境意識の高まりを受けた時代でこそその新たな取組みではないかと考え、次回開催（今秋予定）以降、この活性化策がどのような広がりを見せていくのが注目していきたい。

（天王寺・阿倍野支部）

大阪商工会議所 支部

新淀川支部 (淀川三区担当)	〒532-0025 淀川区新北野1-14-11 大阪新北野第一ビル2階	TEL.6302-5977 FAX.6302-5978
北・都島・福島支部	〒530-0047 北区西天満5-1-1 ザ・セヤマビル3階	TEL.6130-5112 FAX.6130-5113
旭・城東・鶴見支部	〒536-0005 城東区中央2-12-14 柏木ビル2階	TEL.6930-2244 FAX.6930-9898
中央支部	〒541-0051 中央区備後町3-4-9 輸出繊維会館6階	TEL.6222-2221 FAX.6222-2480
此花・西・港支部	〒552-0007 港区弁天1-2-30 オーク4番街3階	TEL.6599-1537 FAX.6599-1538
東成・生野支部	〒537-0012 東成区大今里3-14-27 ITTビル2階	TEL.6975-5662 FAX.6975-5663
天王寺・阿倍野支部	〒543-0056 天王寺区堀越町13-18 銀泉天王寺ビル5階	TEL.6771-2211 FAX.6771-2257
大正・浪速・西成支部	〒556-0017 浪速区湊町1-4-38 近鉄新難波ビル11階	TEL.6649-5252 FAX.6649-5253
東住吉・平野支部	〒547-0034 平野区背戸口5-6-17 小谷ビル東館4階	TEL.6797-1155 FAX.6797-1199
住之江・住吉支部	〒558-0051 住吉区東粉浜3-27-12 住吉住之江産業会館2階	TEL.6674-1125 FAX.6674-1138